

先日の大雨について

7月4日の梅雨前線による大雨で、熊本県を中心に甚大な被害が発生し、多くの方が亡くなりました。また、6日には福岡・佐賀・長崎で大雨特別警報が発令され、大牟田市や久留米市でも大きな被害が発生しています。亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

本町におきましても、6日から7日にかけて、430ミリ余の記録的な豪雨に見廻れました。6日お昼頃に山ノ井川が氾濫危険水位を超え、水位が上がり続けたため、山ノ井川周辺地域と花宗川周辺地域に避難勧告を発令致しました。その後、山ノ井川が長時間溢水し、周辺地域に被害が出ています。本町における家屋被害は床下浸水34件、倉庫浸水40件となっています。また、農産物にも少なからず被害が発生しています。

今回の大雨の対応では、浸水害の被害を軽減できるように、地域のご協力を得て堀割の水位を大幅に下げましたが、堀割の平地ダムとしての効果が大きいことを改めて確認出来ました。今後も暫く、いつ大雨の被害が発生するかわからない状況であり、町民の皆さまにはこれからも災害への万全の備えをお願いいたします。

避難勧告等が発令された場合は、指定された避難所への早めの避難をお願いいたします。また避難行動は避難所へ行くことだけではなく、安全な場所で安全を確保することも含まれます。家屋の2階などへの避難など、安全を確保して頂きますようお願いいたします。

近年では3年前の九州北部豪雨、一昨年西日本豪雨、昨年は7月と8月の豪雨と、毎年異常気象による豪雨災害が発生しています。地球温暖化の影響が年々深刻化しており、今後更に異常気象による災害の深刻化が予想されます。そのことをしっかりと念頭に置き、今後の備えをして行かなければならないと思っています。

町民の皆さまにも、常態化した気象災害への備えを重ねてお願いいたします。

令和2年7月10日

大木町長 境 公雄